

# 奄美大島・喜界島農業の動き

## ■令和8年1月

### 1 喜界町地域計画話し合い活動における意見の分析

喜界町では、地域計画のブラッシュアップを目的に話し合い活動が行われ、724件の意見が出されました。そこで1月に、出された意見を、農地、人、暮らし、営農、機械の5項目に分類し、SWOT分析の手法を用いて分析しました。5項目のうち、農地に関する意見が多く、特に、農地の「管理」「賃借」「改良」について意見が集中しました。SWOT分析では、解決が必要とされる「内部環境」の「弱み」に関する意見が多く見られました。今後、関係機関で情報を共有し、課題解決のための取組を支援していきます。

### 2 奄美たんかん出荷販売対策会議の開催

1月15日から20日にかけて、島内5か所で「奄美たんかん出荷販売対策会議」が開催されました。70名を超える生産者が参加し、販売量・単価などの販売計画について協議しました。今年産は、夏季の高温などの影響が懸念されましたが、台風やヒヨドリの被害もなく、豊産傾向にあります。会議では、センサー選果で品質保証された奄美たんかんの信頼確保を基本とし、取引単価の向上による積極的な販売に取り組むことが確認されました。今後も奄美たんかんの銘柄確立に向けた活動を支援していきます。



奄美たんかん出荷販売対策会議の様子